

長尾



No. 166

TIMES

平成21年3月号

DISTRICT 336-A・4R・3Z

INTERNATIONAL
L.C. NAGAO



桃：造田宮西

も
く
じ

表紙裏：国際テーマのハイライト

1. ジョージタウン結成 45 周年式典
4. 特集 第 47 回 OSEAL フォーラム
in 香港：見聞録
9. 薬物乱用防止教育認定講師養成講座
10. アクティビティ
・第 4 回ふるさと写生大会
・姉妹提携ライオンズクラブ支援
① ジョージタウン「腎臓透析セン

ター設立」支援

- ② 「ポケット太陽の村」財政支援
・「小さな善意」届ける
・20 年度 LCIF 寄金
 13. 2007～2008 年度会長・幹事優秀賞受賞
 14. ドネーション 1075～1078 会定例会
 18. エッセイ・「一枚の油絵」
 19. 文芸欄／1 月・2 月誕生者
- 裏表紙：会社訪問・(有) 田中白雲堂

祝・祭日には国旗を掲揚しましょう

2008~2009

国際テーマのハイライト

奉仕で奇跡を



~Miracles Through Service~

国際会長

アルバートF・ブランデル



「LCIFは貴方の為に！」

ライオンズのお陰でLCIFは視力保護以上のことを行っています。LCIFは多種多様な方法で世界中の人々を助けるライオンズを援助します。私達は災害援助を提供し、障害者を支援します。青少年には立派な大人となって成功するために必要なスキルを提供します。LCIFが引き続き成功を収めていくためには、ライオンズがLCIFに惜しみなく協力し続けることが必要なのです。もちろん経済不況で大変な時であることは分かっています。けれどもそういう時であるからこそLCIFに協力し、最も困っている人々を助けなければならないのです。

LCIFは様々な地域社会に援助の手を差し伸べることにより、人々の暮らしを改善し、機会を提供していることを忘れてください。いつかあなたの町をLCIFが援助するかも知れません。

カリフォルニア州で猛威を振るった森林火災、湾岸地帯に発生した壊滅的なハリケーン、そしてインドのビハールで発生した大洪水にLCIFが対応したのはそれほど前のことではありません。

LCIFが青少年奉仕や視力や聴力の関係活動のために交付する援助交付金は小さな町そして大都市の何万もの人々に日々影響を及ぼすのです。ニーズのあるところにLCIFが援助の手を差し伸べているのをあなたは目にするはずですよ。

LCIFは効率的かつ効果的に人類に奉仕しています。そこでLCIFがその人道奉仕の規模と範囲を広げていくことがお分かりになれば、きっと喜んでいただけるでしょう。視力ファーストIIが収めた大成功から私たちはヒントを得、LCIFの今後について見直しました。私たちはLCIFを更に発展させ、これまで以上に多くのライオンズを援助し、一層多くの人々に奉仕ができるようにしていくのです。具体的な詳細は近いうちに発表される予定です。しかし、今確かに言えることは、LCIFがライオンズの奉仕を支えるための一層大きな力になるのだということです。

LCIFの記事をお読みなれば、あなたのLCIFが世界中でどのようになっている人々やなおざりにされている人々を助け出し、これらの人々が自らの将来を築いていけるようにしているかがお分かりになると思います。

LCIFはあなたのお手伝いをするためにあるのです。LCIFを頼りにしてください。

あなたはLCIFの力になってくださいますか？

ジョージタウンLC結成45周年

式典参加報告



会長 中川 宜興

2009年1月11日(日) マレーシア国
ペナン州ジョージタウン市で開催される姉妹
クラブであるジョージタウンLC 結成45周
年式典に出席のため、次のメンバーで訪問
した。

会長 中川宜興 前会長 富田義雄 第一
副会長 尾崎正一 第三副会長 村尾良明
国際協調委員長 山下泰司 四十五周年記念
事業委員長 寒川正行と我がクラブの式典並

びに各種の場面でお世話になった L. 村尾の孫さん 田野邊姉妹合計8名
の参加者となった。

≪1月9日(土)≫

午前5時 長尾公民館前に集合 いろはタクシーで関西空港へ

その後東京から来る田野邊さん姉妹と合流場所待ち合
わせ、この日は東京地方は降雪警報が出ており心配した
が時間通り到着したので、さっそく搭乗手続きをし、朝
食をとり
搭乗待ち。

午前11時10分 マレーシア航空M1051便コタキナーバル経由

クアランプールへ

この日は連休のためほぼ満席であった。

午後7時20分 (時差1時間) 定刻E16(クアランプール国際空港) 到着

午後8時20分 E16発

午後9時10分 ペナン(パヤン・レパス) 国際空港に到着

つい2ヶ月前 わがクラブの式典に参加された方々の顔
がいっぱい ここで記念写真

早速ジョージタウンのダウンタウン郊外の山の中腹にあり市街地がよく
見えるレストランでウエルカムパーティー。今日から3日間、おなじみの
シティホテルへ チェックイン

≪1月10日(土)≫

ゴルフコースと観光コースに分かれての親睦と交流のメニューで今日一
日の昼間の行事があった。

ゴルフコース

L 富田義雄 L 尾崎正一 L 村尾良明 L 中川宜興

観光コース

L 山下泰司 L 寒川正行 田野邊姉妹

午後6時から1986年、東インド会社の船長フランシス・ライトが上
陸した場所にたてられた砦【コーン・ウオリス砦】に隣接した野外音楽堂
で盛大に「友好交流の夕べ」が開かれた。地元の女性グループの音楽会ま
た参加クラブの郷土芸能などがあり、大変賑やかな楽しいパーティーでした。

私たちも呂さんから依頼のあったカラオケセットと浴衣・法被を持参して参加しました。

ホテル帰着午後12時前

≪1月11日(日)≫メインとなる日です。

午前10時集合

合同アクティビティである腎臓透析センターの起工式が市内の旧葬祭場の建物内で政・市並びにライオンズクラブ関係者の挨拶の後、鉄入れが施工された。その後近くの中華飯店で昼食会が開かれた。自由行動でそれぞれ時間を過ごした。



45周年記念盾を受賞

午後2時過ぎ

午後7時

市内Frader Hotelにおいて、政府・市関係者をはじめ来賓の出席のもと、ガバナーを始め、13姉妹クラブ並びにGesultクラブが参加して、総勢約300人に余る盛大な45周年式典であった。

先方の要請で記念品の交換は、しないこととなっていたが周知が徹底しておらず急遽、バナーと合同アクティビティのドネーションをわたすこととなった。



祝辞は日本語で行い、通訳を田野邊さんをお願いし、好評でした。12時近くでお開きとなりホテルに帰った。

≪1月12日(月)≫

帰りの便が連休のせいでこの日にとれず、ペナンの売りの一つであるリゾートで一泊することとなりパトウ・フェリンギにあるパークロイヤルホテルで宿泊した。

マラッカ海峡に面した高級ホテルで外と隔離され、人生で初めて最後となるかもわからない時間を過ごすことができた。

≪1月13日(火)≫

昼過ぎにジョージタウンLCの皆さんに迎えられ空港近くで夕食を皆で食べ空港まで送ってもらった。



午後9時46分 マレーシア航空MH167便ペナン発

午後10時40分 Klia着

午後11時55分 マレーシア航空MH052便Klia発

≪1月14日(火)≫

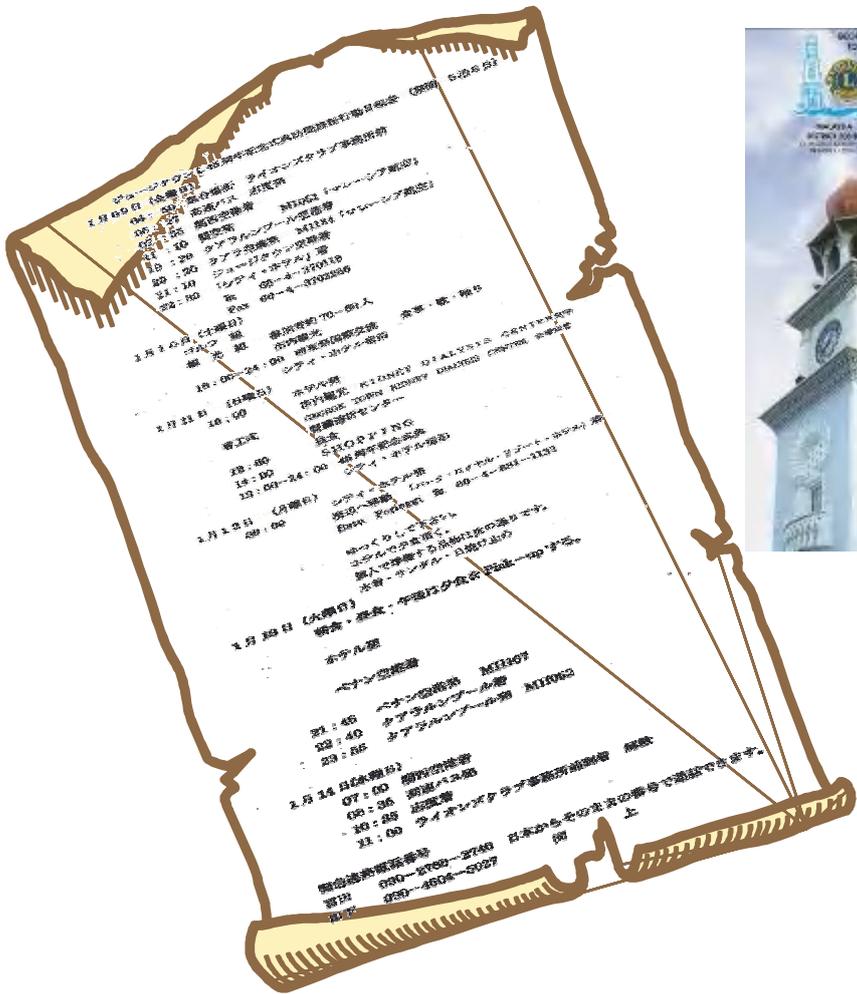
午前7時 関西空港定刻着

三協タクシーにて午前11時過ぎ長尾帰着

6日間の訪問記は以上ですが、お世話になった皆さん通訳をお願いしました田野邊姉妹ありがとうございます。国際交流は大変ですがこの経験を生かしより親善と友好に尽くしていきたいと考えています。



「腎臓透析センター設立」支援金贈呈



祝辞：中川会長



特集

第47回 OSEAL フォーラム IN 香港
「笠井ZC・大西地区委員との香港・マカオ見聞録」

(4R・PR・ライオンズ情報・大会参加委員 鶴居 健)



第47回東洋・東南アジアフォーラム
会場入口前にて
笠井ZC・大西地区委員と。



フォーラム登録証

昨年12月4日から7日にかけて、香港で開催された第47回東洋・東南アジアフォーラムに、4R・3Z笠井ZCと4R会員・会則・EXT・指導力育成・プロトコール大西委員と参加しました。この間の楽しい思い出を記録しました。ご一読いただき、フォーラムの内容と香港・マカオの事情の一端でもお分かりいただければと思います。

「1日目 12月4日(木)」

早朝3時起床。普段8時前後に起きる私にとって辛かったが、何とか目が覚めた。食欲がないのに無理してトースト1枚とサラダ、コーヒーを口に流し込む。出迎える「いろはタクシー」で高速バス志度へ。4時47分のバスに乗車、笠井ZC・L大西と合流し一路関西空港へ。途中で大阪湾に昇る日の出を迎え、今回の旅の無事を祈る。

関空4階中央団体受付場所に予定通り到着、山地地区ガバナー、石井幹事、森崎会計等キャビネット執行部に挨拶、原北事務局長のお元気な姿もあった。糖尿病・高血圧・心臓病等々で1日23錠の薬とインシュリン注射のお世話になっている身で、手荷物検査が気掛かりであったが無事通過、笠井ZCはベルトのバックルが問題だったらしくパスするのに時間がかかった。

10時発のJAL701便に搭乗、高度4万フィート、時速720km/h、外気温マイナス65℃、フライト時間4時間20分。時差日本とマイナス1時間、現地時間13時20分、香港国際空港着。到着ロビーには、他の地区の出迎える係りの人がプラカードを掲げ右往左往しているが、私たち336・A地区の出迎えが見当たらない。暫くしてやっと添乗員を見つけて一安心。バスに分乗してホテルへ。早速添乗員の「温」さんから香港滞在中の注意すべき事柄の説明を聞く。

先ず、香港では飲酒運転の規制がないが、交通事故にはくれぐれも気をつけること、自衛が基本であるとの驚くべき話。次にこれはどこでも同じだが、盗難、万引きに注意とのこと。ホテルでは必ずセーフティボックスを活用することの確認。当座のお金として両替をする。日本円2万円で1540香港ドル、1香港ドル約13円、最近は為替変動が激しいとの話。なお、香港は面積約1、100平方キロメートル、人口約680万人、言語

は中国語（広東語）と英語。年間を通して温暖だが一応四季はある。11月12月は日本の初秋のような気候。12月の日の出は平均6時55分、日没は17時42分。

約40分、私たちの宿泊する「ハーバープラザメトロポリスホテル」に着。笠井ZCと同室。荷物を片付けひと休み。18時頃から、漢京楼の「北京ダック」を賞味の後、オープントップバスで香港の夜景を楽しむ。驚いたのは、ビルの補修工事の足場が竹を組んだものであったこと。商店の看板が道路まで突き出しており、危なくバスの乗客の頭に触れそうな場面に遭遇。バスでの観光を終わり、女人街と呼ばれるマーケットストリートに散策。このストリートはB級。C級のコピー商品の小さな店がゴチャゴチャとしており、なかなか活気のある場所であった。香港の街でも、新宿、渋谷、六本木と同じく23時近くになっても若者たちがウロウロと夜の繁華街をさまよっている。「夜12時前に寝るのは赤ちゃんだけよ」と添乗員は笑って話す。



トンチヨイ・ストリートにある女人街は衣類やバッグ等女性物を中心に扱うナイト・マーケット。テンプル・ストリートには男性物を扱っている。

24時近くホテルに戻る、さすがに疲れた。考えると今日は朝3時に起床。24時まで約21時間、バス・飛行機・またバス等々、その間食べたり飲んだり、歩いたり、よくぞ倒れなかったものと自分で感心する。シャワーもせずにベッドに倒れ込み熟睡。

「2日目 12月5日（金）」

2日目、今日は今回の旅行の本番とも言うべき日。朝はゆっくりと起床。バイキングの朝食後、ホテルを出発。1997年に中国に返還された時の返還記念広場へ。対岸にそそりたつ高層建物の眺めは壮観の一言。隣接するアベニューオブスターズには私は知らないが、有名な俳優の手形が多く、観光客が思い思いに自分の手を重ねて楽しんでいた。レストランにて飲茶の昼食、14時30分からスタートする開会式に参加するため、会場のアジアワールド・エキスポに向かう。

返還記念広場にて参加メンバーと記念撮影。

香港コンベンション&エキシビジョンセンターを中心に都市開発が進められている。

15時10分、会場に到着。会場ではベストを着用した中国のライオンの仲間が参加者の案内、整理に大奮闘。到着した時、既に各国の地区ガバナーの入場がスタートしていた。通路を香港の児童が両手に花・国旗にして踊りながら入場するガバナー等を歓迎。北京オリンピックの小型版みたいだと思った。



香港欢迎您 05-12-2008



フォーラム会場内部。ひな壇に多くの役員が並ぶ。JAPANのメンバーの席はひな壇に向かって正面の半ば以上が割り当てられていた。

フォーラムのテーマは「A New Dimension In Humanity」貧困や差別がなく、すべての人々の尊厳から守られる世界へ向けての新しい一歩となるろうという、大いなる挑戦を含んでいる。日本から2145人が参加。登録者数は6006人にのぼったと聞く。

いよいよ式典が開始。開会ゴング、中国国歌、米国歌の斉唱。物故者への黙禱等々、粛々と議事が進行する。次から次とスピーチが英語で行われる。会場には英語の分からないメンバーが多くなるのだから、正面の巨大スクリーンに、主催国の母国語、今回は中国語だが、参加の多い国の言葉でスピーチの内容を紹介してはと考えた。英語で式典を仕切ってしまうのであれば、少しは参加者の言語力を前提に進行内容を正しく伝える方法の検討がなされて当然だと思った。運営上の大きな反省点ではないだろうか？

今回フォーラムで特に目立った点は、中国のパワー、中国本土でOSERALフォーラムを開催したいとの提案や、会期中多くの場面で中国メンバーの活発な発言があったと聞いている。又、女性会員の存在感が十分に発揮されたことも上げられるとの報告を耳にしている。此処で336複合地区ガバナー協議会。議長L小田邦雄のフォーラムでのメッセージを掲載しご披露します。

「この度、第47回東洋東南アジアフォーラムが香港において開催されるに

あたり、関係者各位のご努力に対して、336複合地区を代表して、心から敬意と祝意の気持ちを表する次第であります。

今、まさに香港は、東洋東南アジアの最大拠点として発展を遂げられる一方、ライオンズクラブに於いても、中国本土へのエクステンションの橋頭堡としての役割を担われ、ライオンズクラブ発展のために大いに貢献をされ、ますますその重責を果たしておられます。

今回の東洋東南アジアフォーラムが、東洋東南アジア地域のより良き明日を築くために有意義ですばらしいフォーラムとなりますことを衷心よりお祈り申し上げます。」

次のスケジュールの関係上、16時20分、今夜の「MD336の夕べ」出席準備のため、会場を後にいったんホテルへ。今日の二つ目のメインイベントである。場所はハッピーヴァレー競馬場6階「オーナーズボックス」で19時スタート。

出席者143名、谷野（下関LC）藤井（福山東LC）元国際理事をはじめ小田336複合地区ガバナー、複合地区協議会議長（岡山西LC）、336・A/D現地区ガバナー同次期地区ガバナーの文字通りMD336のオールスターキャストが勢ぞろい。

式は、山地A地区ガバナーの開会挨拶、小田協議会議長挨拶、森岡B地区ガバナーの音頭での乾杯、前記お二人の元国際理事の挨拶と続き、中国楽器「二胡」の生演奏のなか祝宴懇談に入る。私のテーブルには、A地区1R宇高RCご夫妻、同2R1Z藤田ZC、2Z竹中ZC、同2R、2Z松山湯築LC管ご夫妻、そして4Rの私たち3名。右隣にはA地区5R神余RCをはじめA地区5Rのメンバー。約1時間30分の宴はA/D次期地区ガバナーの紹介、C地区橋高地区ガバナーの閉会の挨拶で終了。とても和やかで楽しい雰囲気の中、時間が経過した。

二日目もホテルに帰ると24時近く、連日の強行軍にダウン寸前の状態。それに明日はマカオ観光とかで、バスのホテルスタート7時10分。モーニングコール6時と添乗員の冷たい声。眠ろうとするがなかなか寝付けない。睡眠薬半錠の助けをかり、眠りにつく。

「3日目 12月6日(土)」

三日目、今日は10時間のマカオ観光。43名参加。

マカオは、1999年にポルトガルから中国に返還され、2005年に「マカオ歴史市街地区」として八つの広場と二十二の歴史的建築物が世界遺産として登録された。大航海時代に東西文化の交流地点として栄え、ポルトガル、中国といった異なる文化が融合する姿は旅人を魅了している。言語は中国語(広東語)とポルトガル語が公用語、入境にはパスポートが必要。どこからどこまでかはつきり分からなかったが、高速船で1時間くらいで、マカオに到着。



聖ポール天主堂跡。
マカオのシンボル教会の前面部分だけが焼け残ってる。
東洋一と称されたキリスト教建築物。

下船後暫く歩くと、聖ポール天主堂跡(Ruins of

St. Pauls) マカオのシンボル教会の前面部分だけが焼け残ったアザード。かつては東洋一と称されたキリスト教建築物だったが、1835年火災で焼失した。隣接してナーチャ廟、(Natacha Temple) 1888年に神童ナーチャを祀るために造られ小さな寺院。旧城壁(Section of the old City Walls) 1569年に造られた街を外敵から守るための壁、等世界遺産に指定されている遺跡を見る。歩いていると良い匂いがしてきた。聞くと「エグタルト」と言われているお菓子、一口頬張ると甘い香りが広がり、柔らかいスイートが湧けそうに口一杯となる。玉子の部分が長時間味を保てないとかお土産にはならないとの話。

地面にはめ込まれたモザイク模様とパステルカラーのコロニアル風建造物が印象的なセナド広場、1784年に建てられた地方自治会の美しい民政総署、ポルトガル語では忠実なセナドと言う意味で「レアル・セナド」と呼ばれ、新古典様式の装飾が素晴らしい。まだまだ見学したい「モンテの砦」「ギア要塞」「媽閣廟」等々があつたが時間の関係で遺跡群と別れを告げる。

昼食後、マカオ最大面積を誇るSANDカジノへ案内される。流石に広い。中に入ると迷子になりそうであつた。バカラ、ブラックジャック、ルーレット、スロットマシン等々。カジノは三回目だが、遊び方が分からないので専ら見学。バカラのプレイを見る。バンカーとプレーヤーとの駆け引きが面白い。女性が結構多く、元気に賭けを楽しんで入る様だ。然し真剣そのものの空気が漂っている。見ている内に大体要領も理解したが、なかなかゲームに参加する勇気が出ない。時計を見ると集合時間、慌てて元の場所に急ぐも分からずにやや慌てる。後で笠井ZC、大西委員に聞くとお二人とも何もしないでボンヤリと眺めていただけとのこと。



香港の1000万ドルの夜景

バスで港へ。途中、窓から見える山はどれもこれも禿げ坊主。樹木が殆どない。恐らく中国の開発による公害の結果ではないか？と話し合う。また、海水の色も茶色に汚れている。また、連日乗っているバスは中国製、左ハンドル、乗車口は右側、バスに乗る時、注意をしないと乗



車中、そばを車がビュンビュンと飛ばしている。危険なこと極まりない。

ホテルに17時頃帰着。いったん休憩した後、オプシヨンの香港グルメをリードする「海都海鮮料理酒家」での海鮮料理の夕食と、海拔396mの「ビクトリアピーク」の100万ドルの夜景を楽しんだ。香港最後の夜、

ホテルに戻ったのは11時、荷物の整理を終えて、三日目に風呂に入り、溜まりに溜まっている疲れをほぐした。それでも12時を過ぎていた。

「4日目 12月7日(日)」

今日は帰国後、ゆっくりと7時過ぎに起床、さすがに朝食のバイキングにも厭きた。結構強行軍のスケジュールを無事こなし一安心。笠井ZCにも疲れの表情は無い。閉会式に出るか否



かで話し合ったが、荷物の持ち運び、空港への時間、なによりも閉会式に長くおられないとの事で参加を取りやめとした。又、理解出来ない英語のスピーチを聞くのも疲れるとの考えも不参加とした大きな原因であった。前にも記したが、参加者に式典の進行内容を十分わかるような運営を検討することが、式典への参加者の熱意を左右する大きな要因になる事を考えるべきであると思う。

香港国際空港で出国の手荷物検査で、今度は私のインシュリン注射器具一式が引っ掛かり、下手な英語で説明しOKとなり冷や汗をかいた。

14時55分発JAL702便に搭乗、一路帰国の途へ。19時10分、関西空港に無事到着。往路と逆に高速バス関空発20時15分発、志度到着23時、家には23時20分着。四日振りに日本に帰っての最初の一言は「寒い」の言葉であった。聞けばこの二、三日、寒波襲来で氷が張ったとの事。我が家に戻り、本当にヤレヤレの気持ち。熱い日本茶を飲んで「やはり我が家は良いな」が正直な感想であった。

僅か四日間のショートツアー、海外旅行は色々と思聞を広められるが、疲れる。つくづく「年だな」とも思う。体力の衰えに侘しさを覚えつつ、筆を置きます。

中川会長が講師に認定された

薬物乱用問題は全世界的な問題として取り上げられており、とりわけわが国では昨年からは大学等での大麻など薬物乱用が新聞・テレビを賑わしており、覚せい剤・合成麻薬MIDMA・違法ドラッグ・大麻乱用が青少年層に拡大するなど、薬物乱用の低年齢化・潜在化傾向は極めて深刻な問題と言わなければならぬ。

薬物乱用のきっかけの殆どを聞いてみると、興味半分・一回ぐらいいは・この程度であればと言った安易な考えから垣塙に落ちたと言われます。

こうしたことから、薬物乱用防止は小学生・中学生の小さいときから薬物乱用の防止の正しい知識の啓発が必要と考えられます。この解決のためには、学校・家庭・地域社会が一体となって対処していくことが重要です。

今回、ライオンズクラブ国際協会336・A地区：青少年・LCIF・市民奉仕・児童福祉委員会ではこの問題に取り組む第一段階として財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センターと共催で「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」が開催されました。

ライオンズクラブのメンバーがクラブ単位で地域の小・中学校で薬物乱用防止教室を開催することにより、子どもとコミュニケーション

ーションが図られ、地域と学校の連携を強めることができます。

記

- ◇ 主 催 ライオンズクラブ国際協会336・A地区
財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター
 - ◇ 後 援 内閣府（薬物乱用対策推進本部）、厚生労働省、
警察署、文部科学省、香川県
 - ◇ 日 時 二十一年一月十八日午後一時～五時
 - ◇ 場 所 坂出グランドホテル
- 当日の講座参加者は、キャビネットほか二十四名、4R・5Rクラブから六十九名、総勢九十三名が受講されました。



講座の内容は、「薬物乱用と身体への影響」「薬物犯罪の現況」「薬物乱用防止教育の現状」「LC協会における薬物乱用防止活動の実践」「みんなで学ぼう！薬物乱用防止」などで、医師、県警、県教委、行政等の関係機関の専門家による講義を受けられました。

長尾ライオンズクラブからは、中川宜興会長が参加し、左記のとおり講師認定証が授与されました。

中川会長は「薬物乱用防止講習会の講師として認定され、ボランティア活動として小学校・中学校・高等学校等において、初期の目的が果たせるよう努力してまいります。」と受講の弁を語られました。

（森川康生記）

アクトイビティ

ふるさとと写生大会

三十人が参加・腕振るう

「第4回長尾ライオンズふるさと写生大会」が平成二十年十一月二十三日にみろく公園及び茶白山古墳周辺で開催されました。

この写生大会は、平成十六年に襲った台風二十三号の爪痕・そして復興の姿を見てもらおうと平成十七年から「環境を守るための写生大会」として開催してきましたが、復興もほぼ終わり自然の美しさ・落ち着きを取り戻してきたことをふまえ、今年から「ふるさとと写生大会」と名称を改め開催すること



になりま
した。ふ
るさとの
美しさ・
その癒し
の根源と



なっている
自然環境の
大切さを実
感していた
だくことを目標にしております。
心配していた天候も、少し肌寒
かったが晴れ渡り、まさに写生日
和といったところでした。

参加者は 幼稚園児 四名
小学生 二十二名
中学生 一名

環境を守る美意識

一般 三名
例年に比し、中学生、
一般の方の参加が少な
く、若干寂しい思いが致しました。
しかし、参加者は自然を堪能しつ
つ、絵筆にその感覚を表現してい
く姿に感動させられました。

作品は二十一世紀館さんがわで
十二月十六日～二十一日までの六
日間展示され、多くの
市民の方々に観て頂き
(延べ一七五名)、自
然環境保全の大切さを
知って貰うことが出来
りました。

展示点数は、総数四
十点で部門別には次の
通りでした。

幼稚園児 三点
小学生 十九点
中学生 十点
一般 八点



なお、展示については、写生会
の当日は種々行事等で参加できな
かった天王中学校生に特別出品し
ていただいたこと、また、木画会
の方々や家族ぐるみで出品してい
ただき、おかげで会場を賑わすこ
とができました
た。ご協力に
感謝申し上げます。



ファミリー賞：宮地さん一家

展示会の最
終日には、優
秀作品の
表彰式が
行われ、
入賞された皆様方（優秀賞二
十二点、ファミリー賞一点）
には長尾ライオンズクラブ中
川宜興会長から表彰状と記念
品が贈呈されました。

なお、最後になりましたが、
写生大会の運営では東讚絵画美術
協会・木画会並びにさぬき市教育
委員会に多大のご指導、ご協力を
頂きました。心からお礼を申し上
げます。
(文責 森川康生)

アクティビティ

姉妹提携クラブ支援

そのI

マレーシア国ジョージタウンLC 「腎臓透析センター設立」支援

マレーシア国では、腎臓透析を必要とする人が毎年3000人増え続けているという。中でもわれわれの仲間のジョージタウンLCがあるペナンではその10%にあたる約300人が増え続けているといわれる。そのことは、透析機十一台を設置した透析センターが毎年五ヶ所ずつ設置を必要とするとのこと。

ジョージタウンLCでは、「ライオンズ腎臓透析センター設立」国の腎臓透析寄金と協力に立ち上がり、腎臓疾患患者の救済を支援することになった。

そこで、当該クラブの姉妹提携ライオンズにも、活動の輪を広げ協力を仰ぐことになった。これを受けこのほど、事業資金の醸成に

ついてわが長尾ライオンズクラブへも要請があった。

当クラブでは、このプロジェクトへの参加を呼びかけたところ、

十七名の協力者を得ることができ、**醸成金九万円**については、一月に開催されるジョージタウンLC四十五周年記念式典に参加する訪問団

(中川会長ほか七名)に託した。長尾LCからの「腎臓透析センター設立」支援プロジェクト参加者は次の方々です。

- ┌ 中川宜興、┌ 田中克己、┌ 富田義雄、┌ 村尾良明、┌ 松原典士、┌ 安部好、┌ 阿部信行、┌ 尾崎正一、┌ 入谷武、┌ 松井正成、┌ 白井貞男、┌ 井上信明、┌ 鶴居健、┌ 安西勝、┌ 山下泰司、┌ 松岡喜久雄、┌ 森川康生

そのII

「ポケット太陽の村」 財政支援

ポケットの太陽の村は、2004年にポケットを襲ったあの恐ろしい津波で親を失い路頭に迷う子どもたちを救うために、ポケット・アンダマン・シーLCが設立した孤児保護養育施設。

【支援要請の骨子】

運営を始めて一年余りになりましたが、現在六十七名を収容し、津波孤児に加えて親に捨てられた一歳二ヶ月の幼児から十三歳の児童までの不幸な子どもたちを育てています。現在は収容能力の六十程度で運営していますが、2008年度末には100%を目指している。そのために優秀な人材の雇用と健全な財政の維持に努めております。タイ政府は、私どもの「太陽の村」財団を優秀なNGOと認定してはいますが、財政援助は一切ありません。現時点での財政状況は今

のところ順調であるが、今後の経済不況や物価上昇に備え、世界中の企業や個人はもとより、国内外のライオンズクラブやロータリークラブ、NGOの財政支援を求めています。「子どもたちによりよい未来をおくる子どもたちの家庭」の充実発展のためにお力添えの程宜しくお願いいたします。

ポケット太陽の村財団理事

ポケット・アンダマン・シーLC

会長 ┌ フランコ フェリー

長尾LCからのプロジェクト参加者は次の十六名の方々です。

- ┌ 中川宜興、┌ 田中克己、┌ 富田義雄、┌ 村尾良明、┌ 松原典士、┌ 安部好、┌ 寒川正行、┌ 尾崎正一、┌ 入谷武、┌ 松井正成、┌ 白井貞男、┌ 井上信明、┌ 多田敏雄、┌ 安西勝、┌ 山下泰司、┌ 松岡喜久雄、支援金八万円寄贈

アクティビティ

小さな善意

使用済み切手、書き損じハガキなどを(社)日本キリスト教海外医療協力会に寄贈

氏名	使用済み切手(日本)	使用済み切手(外国)	未使用ハガキ	書損じハガキ
羽床勝利	592			
村尾良明	5,553			
溝渕速	1,223	6		
松原典士	220			
森川康生	388		34	19
松井正成	428		5	
多田敏雄	100			
松井博之	160			
富田義雄			1	5
中川宜興				112
有友静夫	1,082			
田口徹	397	4		
永山淑	461			
事務局	141	3		
合計	10,745	13	40	136

二〇〇八年度のアクトとして、使用済み切手等の収集をお願いしていただきましたが、皆様のご協力を得て、十二月二十日に締切り送付しました。一年間根気よく取り組んで戴いた会員の皆様に心から感謝申し上げます。



なお、社団法人日本キリスト教海外医療協力会から、二十年十二月二十六日付で、使用済み切手の受領証並びに礼状が下記のとおり届きました。

受領書・礼状

この度は、誠にありがとうございました。ございました。

上記(送付一覧表)の通り。確かに受領いたしました。心よりお礼申し上げます。

日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)は、現在、カンボジア、バングラデシュ、ネパール、パキスタン、タンザニアの五ヶ国に医師、看護師を派遣し、その地域の人々の健康を守るために活動しています。

皆さまから寄せられた切手や書き損じハガキ、外国コインなどは、収集家のご協力により換金され、前記の活動資金となります。

2007年度は、おかげさまで、およそ十五万円の切手が寄せられ、二千万円を事業の資金として役立てることができました。心から感謝申し上げます。

また、受領書の裏には、現地で活動している、樫戸健次郎医師のことばが載せられていました。

「早く家に帰りたい」

入院患者さんはだれでも、病気が良くなれば早く家に帰りたいと思うのは当然ですが、チョウジャリ病院の患者さんの多くは、完治しないうちから家に帰りたいがたがります。大きな理由は、家が貧しく現金の持ち合わせがわずかなためだと思われまます。入院すれば治療費として少なくとも500ルピーから1000ルピー(約千円から2千円)はかかります。ネパールの病院ではどこでもそうですが、食事が出ません。ネパールの田舎では、まだまだ多くの人が病と貧しさの中で生きています。

使用済み切手で
アジア・アフリカに
健康を贈ろう!

アクティビティ

【LCIF】(ライオンズクラブ国際財団)

LCIFは1968年にライオンズクラブ国際協会によって設立された財団で、寄贈を受けた寄金の運用により、人類福祉に貢献することを目的としている。

【主な交付金】

LCIF寄金

- ◇緊急援助交付金Ⅱ天災が起こった直後、ライオンズの救済活動資金の援助
- ◇一般援助交付金Ⅱ地区の人道的奉仕事業の資金援助
- ◇四大交付金Ⅱ①視力保護②障害者援助③健康促進④青少年奉仕

- ◇大災害援助交付金Ⅱ国際的規模の大災害のための援助
- ◇CSFⅡ(視力ファーストⅡキャンペーン)Ⅱ世界中から予防可能な失明をなくするためのキャンペーン

【二十年度寄付者】
拠出金・1000\$



L 田中克己 (M J F) 7回目	L 鶴居 健 (M J F) 6回目	L 松原典士 (M J F) 5回目	L 村尾良明 (M J F) 3回目	L 入谷 武 (M J F) 2回目
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

なお、LCIF寄付者にはラペル・ピン交付、芳名録記載などが行われます。

おめでとう

008年の会長
ライオンズクラブ国際協会本部から、このほど2007年から2008年の会長・富田義雄並びに幹事・藤沢健三氏に優秀賞としてラペル・ピンが届き、定例会で中川宜興会長より伝授されました。衷心よりお祝い申し上げます。



前幹事 藤沢健三



前会長 富田義雄



ドネーション

第1075回 定例会 (新年例会)

H. 21. 1. 09

氏 名	～ どん な こ と で ～
L 中 桐 義 人	新年おめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。 健康第一で頑張りましょう。
L 池 田 肇	新年明けましておめでとうございます。 今年も夢を持って希望達成のために努力しましょう！
L 安 西 勝	新年明けましておめでとう。私もマレーシア国ジョージタウンLC四十五周年記念式典に参加したかった(?)
L 阿 部 信 行	皆さま、明けましておめでとうございます。
L 森 川 康 生	慶春・おめでとうございます。二十一年こそ良き年になりますようにみんなで頑張りましょう！ また、長尾ライオンズクラブは五十周年に向けての第一歩の年です、牛歩の如くシッカリ踏みしめていきましょう。
L 藤 沢 健 三	入谷代行会長、本日はご苦労様です。美味しいお酒を頂きました。
L 井 上 信 明	明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。
L 入 谷 武	新年明けましておめでとうございます。 本年もライオンの皆さま方の幸多かれと祈念して！ ※ 今回の定例会は、ジョージタウンLC45周年記念式典にご参加（会員6名）のため、出席者は少なかった。

第1076回 定例会

H. 21. 1. 23

氏 名	～ どん な こ と で ～
L 十 河 清 隆	新年にあたり本年も健康と平和を祈ります。
L 中 村 聖 二	Yes, We Can 『ライオンズの誓い』として！
L 山 下 泰 司	姉妹提携のジョージタウンLCの45周年記念式典が無事終了しました。300人ほどの出席者がありました。長尾ライオンズクラブの皆様によろしくとのことでした。なお、マレーシア国・腎臓透析センター設立並びにプロジェクト・太陽の村財政支援プロジェクトへの寄付支援ありがとうございました。
L 国 方 弘	今年もドネーションよろしくお祈りいたします。
L 村 尾 良 明	ジョージタウンLC45周年記念式典に参加し、無事帰ってきました。
L 多 田 敏 雄	1月19日に開催された4R・3Zの親睦ゴルフ大会で、個人成績4位になりました。
L 田 中 克 己	今年最初の新年例会（1月9日）に欠席して申し訳ありませんでした。
L 六 車 兌	改めまして、新年おめでとうございます。本年も宜しくお祈りいたします。 今年私は私の当たり年です。 1月7日より約8日間中央病院に検査入院しておりましたが、無事元気で退院することができました。会員の皆様も健康に留意され、頑張ってください。
L 阿 部 信 行	健康であることに感謝して！

L 石井利夫 L 安西勝 L 入谷武 L 尾崎正一	ジョージタウンLC45周年記念式典にご参加の皆様大変御苦労さまでした オバマ大統領とL国方弘テールツイスター様に対して！ 1月生まれのライオンの皆様おめでとうございます。今年もよろしく！ ジョージタウンLC45周年記念式典に参加させていただき、国際交流を高めてまいりました。
L 松原典士	誕生祝いありがとうございました。いよいよ65歳、高齢者の仲間入りです これから充実した人生を楽しくイキイキと生きるため、何事も前向きにチャレンジします。
L 中川宜興	新年を迎え益々のクラブの発展を祈って！

第1077回 定例会

H. 21. 2. 06

氏名	～どんなこと～
L 山下泰司	2月生まれの誕生日の方々、おめでとうございます。 高松グリーンLCのL松村様、L泉川様の定例会訪問に感謝して！
L 富田義雄	高松グリーンLC5周年記念実行委員長L松村勝彦様、幹事L泉川豊彦様の 例会訪問に感謝して！
L 十河清隆	LCIFのラペル・ビン 並びにメルビン・ジョーンズ・フェローを受賞された5名の方々おめでとうございます。
L 池田肇	立春とはいえ、まだまだ 寒さが続きます、皆様御身体をご自愛のほど！
L 多田敏雄	① 高松グリーンLCの 5周年記念式典の成功を祈って。 ② 母が96歳の誕生日を迎えました。
L 石井利夫	高松グリーンLC5周年記念実行委員長松村様並びに幹事泉川様のご来訪を歓迎して。
L 鶴居健	高松グリーンLC松村様、泉川様のクラブ結成5周年記念式典のご案内に感謝して。
L 阿部信行	高松グリーンLCの5周年おめでとうございます。どうか頑張って下さい。
L 国方弘	常日頃の皆様の心温まるドネーションに感謝して！
L 井上信明	高松グリーンLCからの2名のご来訪を歓迎して。
L 尾崎正一	高松グリーンライオンズクラブ5周年記念実行委員長並びに幹事様のご来訪を歓迎して。
L 安西勝	高松グリーンLC5周年記念実行委員長松村様並びに幹事泉川様のご来訪に感謝して。
L 松原典士	高松グリーンLC5周年記念実行委員長L松村勝彦様および幹事L泉川豊宏を



来訪者：松村様、泉川様

<p>L 中川 宜興</p> <p>高松グリーンLC 並びに松村勝彦様</p>	<p>歓迎して。</p> <p>高松グリーンライオンズクラブの皆様をお迎えし、また、当該クラブの 5 周年記念式典の成功を祈って。</p> <p>高松グリーンLC結成 5 周年記念式典の案内を兼ねて、同実行委員長松村勝彦様、幹事泉川豊宏様が来訪され、ドネーションされました。</p>
---	---

第1078回 定例会

H. 21. 2 . 20

氏 名	～ど ん な こ と で～
L 中村 聖二	<p>※ L中村聖二氏の奥様の手作り折り紙作品のチャリティバザーが行われ売上金をすべてドネーションしていただきました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>作 品 12月19日の定例会ではお正月用の折り紙作品 今回はひな祭り用折り紙作品でした。</p>
L 池田 肇	<p>立春が過ぎもう少して春ですね、桜前線が北上中です。皆様日々よき日でありますように！</p>
L 国方 弘	<p>酒、ビール、湯割りが飲めることに感謝して！</p>
L 阿部 信行	<p>庭に紅梅。白梅が咲きましたが、まだ寒さが続き名のみの春です。しかし、春は春に乾杯して！</p>
L 入谷 武	<p>立春が過ぎても寒いですね、皆様健康に気を付けましょう。</p>
L 尾崎 正一	<p>寒い日が続いていますが風邪も引かずに元気に頑張っています。</p>
L 松原 典士	<p>明日、歩き遍路の下見に行きます。本番は今年の10月から約4年掛けて四国八十八ヶ所の歩き遍路を計画しています(1ヶ月に1回のペース)。皆様も行きませんか</p>
L 中川 宜興	<p>5月の家族会旅行に皆様の多くの参加をお願いします。</p>

蔞の蔓 (ふきのとう)

蔞はキク科フキ属の多年草。日本原産で北海道から沖縄に分布しており、朝鮮半島・中国でも見られる。日本では山地や平野の至るところに自生しています。茎は地上には伸びず、地中で地下茎となり横に伸びる。地下茎が地上に剥き出しになると光合成のため緑色に変色し、そのため、ワサビと間違われて誤食される例があるが、地下茎は有毒であるため注意。地下茎を延ばして早春、苞に包まれた花芽をのぞかせます。蔞は雌雄異株で、蔞の蔓にも雄花と雌花があり、雄花は黄白色、雌花は白い花を咲かせます。

山菜として楽しむ蔞の蔓は、大地より芽を出して間もない物を摘み取り、天ぷらや和え物おひたし、またみそ汁・蔞の蔓味噌で食べられる。

ほろ苦さと独特の香りが、待ちかねた春を感じさせてくれます。



春に季語：蔞の蔓、蔞の芽、蔞の花。
夏の季語：匂の蔞、蔞の葉、伽羅蔞。

三月の行事予定



- 六日(金) 三月理事会・第一例会・誕生会 いろは亭
- 十三日(金) 三月運営委員会 生活支援センターのぞみ
- 十四日(土) 東かがわLC四十五周年記念事業講演 ベッセルおおち
- 十五日(日) 3Z高松グリーンLC五周年記念式典 高松国際ホテル
- 二十日(金)
 - ・午前：第二回4R会員オリエンテーション
 - ・午後：4Rリーダーシップ(指導力育成)研究会
- 二十日(金) 三月理事会・第二例会(二胡||鼓弓演奏会) 高松国際ホテル
- 二十二日(日) 3Z第三回ガバナ―諮問委員会 いろは亭
- 二十五日(水) 第九十回4R・3Z親睦ゴルフ大会 いろは亭
- ホストクラブ・志度LC 志度カントリークラブ
- 二十七日(金) 三月事業委員会 生活支援センターのぞみ



四月の行事予定



- 三日(金) 四月・第一例会・選挙会 大川オアシス
 - (花見例会・ビール銘柄当て会)
 - 五日(日) 第三回献血サポーター活動 みろく公園
 - 十日(金) 四月運営委員会 生活支援センターのぞみ
 - 十一日(土) ~ 十二日(日) 336・A地区 式典：坂出私立体育館
 - 第五十五回地区年次大会 高松カントリー倶楽部 城山コース他
 - 記念ゴルフ大会
 - 十七日(金) 四月理事会・第二例会・誕生会 いろは亭
 - ・国際交流スピーチ
 - 二十四日(金) 四月事業委員会 生活支援センターのぞみ
- ※毎月、第二金曜日は運営委員会を、第四金曜日には事業委員会を開催
- ※詳細は、事務局までお問い合わせ下さい。



一枚の油絵

鶴居 健



お世話になった方々に絵を貰っていた
 だろうと思い、この絵を送らせてい
 いただきました。主人が貴方様には
 「黄色の花」が良いとのことで、「菜
 の花」を選びました。お気に入って
 いただければ嬉しいのですが、本人が体
 調を崩しておりますので、乱筆にて代
 筆いたしました。

N内

N君奥さんの走り書き。ビックリし
 た、ただ事ではない内容。これは読み
 方によると、彼のそれとない私への別
 れのメッセージであり、形見分けでは
 ないかと。油絵を手に、いつしか彼と
 よく歌った「人を恋うる歌」を口ずさ
 みながら涙ぐんだ。

♪♪「妻をめとらば才たけて

みめうるわしく情けある

友を選ばば書を読み

六分の俠気 四分の熱」♪♪

そして、十年程前の会社のOB会
 の、楽しかった一夜のことを思い出
 した。

N君との出会いは五十年前に遡る。昭

和29年4月、私は松山市で新社会人
 としてのスタートを切った。入社した
 職場にいたのが彼であった。その日開
 かれた新人職員歓迎会で、私は学生時
 代十八番であった与謝野鉄幹の、「人
 を恋うる歌」を披露した。彼はこの歌
 を気に入り、是非教えて欲しいと言っ
 て来、彼との付き合いが始まった。直
 ぐに二人は意気投合。若かったので、
 鉄幹の歌で青春を謳歌、

人生・愛について熱

く語り合った。

彼とは数年間職

場を共にしたが、

その後互いに転勤を

重ね、会うことも少なく

なった。その内、二人とも定年を迎

え、会社のOB会で再会。その夜宴会

で肩を組み、久しぶりに鉄幹の歌を思

い切り歌い、話し合った。話は若い頃

の思い出に終始。彼は趣味の絵の勉強

を続け、毎年個展を開いていると言う。

そして私に絵を送りたい「何が

い？」と聞かれ、黄色の花が好きだと

答えたのであった。

彼はあの夜の言葉通り、絵を送って

くれたのだ。友情の証とも言える油絵
 を見つめながら、会社のOB会事務局
 に電話をし、N君の病状を聞く。「ガ
 ンが進み、発見が遅れたので、手術も
 出来なかったらしい」との虚しい答え。
 早速、お見舞いの品と手紙を送った。
 折り返し彼の奥さんから「主人がベッ
 ドの上で大変懐かしく、嬉しそうでし
 た。時々、♪♪妻をめとらば才たけ
 て♪♪と口ずさんでいます。」との
 礼状が届いた。

それから一ヶ月後、訃報の電話。

覚悟はしていたがあまりにも早い彼

の死。共に過ごした楽しい青春時代、

「人を恋うる歌」を思い、涙が止ま

らなかった。その「菜の花」の絵は、

我が家の玄関の壁に掛けられている。

注記

本原稿は鶴居さんが西日本放送ラ

ジオ番組「樫山文枝が朗読する心の

詩」に投稿、平成17年1月15日に放

送されたものです。あらためて、サラ

リーマン時代の旧友である家木治さん

のご冥福をお祈りいたします。



文芸欄

《俳句》

し田中克己

老僧のお茶の接待梅初月

うたたねにテレビの声や冬深し

水仙のねじれなほして客を待つ

焼き芋の匂いの中を孫の来る



お誕生日おめでとう！

【二月の誕生者】

【誕生石】ガーネット

真実、忠実、友愛、貞操

【誕生花と花ことば】

四日・三好 正志

水仙⇨神秘、自己愛

八日・溝渕 速

ははこぐさ⇨温かい気持ち

九日・佐藤 豊子

かんのんちく⇨淑女

十五日・森川 康生、松井 幸子

オンシジューム⇨可憐、協調

二十二日・入谷 スミ代

アンズリユーム⇨煩惱

二十四日・松原 典士、富田真由美

おもと⇨母性の愛、相続

二十八日・富田満里子、松井 通子

レプトスペリマム⇨献身的な

愛、熱望

三十一日・羽床 勝利

しろたえぎく⇨あなたを支

える

【二月の誕生者】

【誕生石】アメシスト

誠実、高貴、心の平和

【誕生花と花ことば】

六日・土草 成子

あぶらな⇨競争

十三日・安部 好

ローダンセ⇨光輝、飛翔

十四日・六車 兌

サイネリア⇨常に快活

十五日・富田 義雄、山下 鈴子

ひなぎく⇨乙女の無邪気

十七日・十河 明美

しゅろちく⇨思慮深い

十八日・西 裕二

タンポポ⇨思わせぶり

二十日・井上 知代子

おうばい⇨恩力、優美

二十三日・山下 泰司

アフランドラ⇨雄々しい

二十五日・中桐 征子

カランコエ⇨あなたを守る

二十六日・白井 雪子

スノードロップ⇨慰め、希望

(有) 田中白雲堂

代表取締役者 上田 中直樹

弊社は、昭和初期から東かがわ市の白鳥神社前で、代々名物「武道餅」の製造販売を行ってきましたが、昭和五十八年二月に、私が持ち帰り弁当のチェーン店『ほっかほっか亭』の事業に参加するようになり、翌五十九年八月に現在の(有) 田中白雲堂として会社を設立し現在に至っております。

昭和五十八年二月に志度に一号店を出店し、六月に三本



会社訪問

かいしゃほうもん

松店、翌五十九年二月に白鳥店を出店。香川県東部地区をエリアとして長尾店三木店、牟礼店など現在は六店舗を営しております。営業当初はものめずらしいだけで社会の認知度も低く、毎日大変でしたが、二十六年たった現在は、皆さまのご支援で『ほっかほっか亭』という名前も全国的に知られることとなりました。

私どもチェーンのモットーは、

「持ち帰り弁当という商品を通じて、お客様に満足を提供し、その満足を私たちの喜びに変え、日々新たな気持ちで頑張つてゆく」ことです。

まだまだ、本当にお客様に満足を提供できているか、自問自答の毎日が続いていますが、今後とも皆さまのご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



水ぬるむ・映える桃



編集後記

三月・「弥生」：夢見月

日に日に暖かくなり、春を迎える喜びが一番感じられる月です。『草木萌動(ソウモクメバエイズル)』季節。新しい芽を吹き、次々と花を咲かせる草木たち……現代人はせっかちななってしまうと、咲いた花や実しか見えないのではないのでしょうか。

いきなり花が咲き、実ったりすることはないことを忘れたくないものです。この芽が生長していくには、まだまだいろいろなおことがあるでしょう。

それは私たちの心に芽生えたささやかな夢や思いと同じ。春の太陽のよな眼差しを注ぎ続けてこそ育つもの。

発行 長尾ライオンズクラブ

〒769-2301

香川県さぬき市長尾東九一四一

TEL 0879-525800

FAX 0879-532098

発行人 会長・中川 宜興

幹事・松原 典士

編集 PR・情報・IT委員会

発行日 平成二十一年三月一日